

## お読み替えガイド (Hitachi Storage Plug-in for VMware vCenter v04.13.0)

本製品に関するユーザーズガイドは、主に国外向けに英語で作成したものを参照いただきます。その際、ユーザーズガイドに記載されている一部内容は、本書に示す通り、読み替えてご覧ください。

### 1. サポート対象

次の表をご確認ください。

#	お読み替え前	お読み替え後
1	VSP G350, G370, G700, G900	VSP G130, G150, G350, G370, G700, G900
2	VSP G200, G400, G600, G800	VSP G100, G200, G400, G600, G800
3	VSP E590H, E790H	VSP E390, E390H, E590H, E790H
4	VSP One B24, B26, B28	VSP One B23, B26, B28

### 2. 制限事項・留意事項

次の表をご確認ください。

#	お読み替え前	お読み替え後
1	(記載無し)	v03.x.xからのアップグレードは非サポートです。
2	(記載無し)	VSP N400, N600, N800 は日本国外でのみサポートされています
3	(記載無し)	VSP G100, G200, G400, G600, G800, G1000, G1500, VSP F400, F600, F800, F1500 をご利用の場合、capacity saving の情報は表示されません。
4	(記載無し)	Provision Datastore 中に retry 実行を促すメッセージが表示される場合、Datastore によって使用されていない LDEV が作成される場合があります。この場合、StoragePlugin.log および StoragePlugin.log.n(n=1~255)に記録された LDEV ID と LDEV Label をご確認ください、LDEV ID と LDEV Label をストレージ管理者へ連絡の上、当該 LDEV を削除するようにご依頼ください。
5	(記載無し)	Physical Storage Discovery で選択された storage system と同じ serial number の virtual storage machine が Virtual Storage Discovery に表示されますが、model name が異なる場合があります。Physical Storage Discovery で選択した storage system をプラグインに登録したい場合は、Virtual Storage Discovery で同じ serial number の virtual storage machine を選択ください。
6	(記載無し)	プラグインがタスク実行中に VMware vSphere Client のセッションが切断された場合、そのタスクは失敗し、プラグインからのリトライやロールバックが実行不可能

		になります。詳細と解決策については <a href="#">(付録2) VMware vSphere Client セッションの切断</a> を参照ください。
7	(記載無し)	プラグインは vSphere Client と web ブラウザの session 情報の取得に失敗した場合、プラグインのホーム画面へ移動時に強制的に Storage System 画面を表示します。もしこの事象が繰り返して発生する場合はブラウザのリフレッシュを実行ください。もし解消しない場合は、ブラウザのキャッシュをクリアするか、Mozilla Firefox 以外のブラウザをご利用ください。
8	(記載無し)	仮想ストレージシステム (VSM) に対して、Capacity Saving (重複排除機能) を有効にして Provision Datastore を実行する前に、当該 VSM のリソースグループに 48 個以上の LDEV ID を割り当ててください。この理由は、VSM のリソースグループに関連付けられたプールに 48 個の重複排除システムデータボリューム (フィンガープリントとデータストア) がストレージシステムによって自動的に作成されるためです。
9	(記載無し)	コントローラモデルアップグレード中における、本プラグインの操作は非サポートです。
10	(記載無し)	“Setting up SSL certificates” は中間認証局の証明書を含めない場合の手順です。中間認証局の証明書も含む証明書チェーンの導入方法については、一般の関係ドキュメントをご参照ください。
11	(記載無し)	プラス記号 (+) を含む datastore の名称で、Provision Datastore で datastore のプロビジョンを実行した場合、プラス記号 (+) が空白記号 ( ) に置き換えた名称で datastore がプロビジョンされます。
12	(記載無し)	<p>VPS が VPS 管理者のクレデンシャルを使用してプラグインに登録されている環境では、その VPS が存在する VSP One SDS Block クラスタに Storage Adapter が既に登録されている状態では、その VPS に対して同じ Storage Adapter を使った Provision Datastore は失敗します。この事象が発生した場合、プラグインによって作成された compute node を手動で削除してください。</p> <p>[Step1] vSphere Client の Task Console から Provision Datastore が失敗した Task を確認してください。“URI = <a href="https://172.16.60.200:443/ConfigurationManager/simple/v1/objects/servers/">HTTPS://172.16.60.200:443/ConfigurationManager/simple/v1/objects/servers/</a>” に続く文字列が compute node ID となります。下記例では、db4ac4d6-0161-4e33-a574-cccaeaf90a35 が compute node ID です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <pre>2023/07/26 10:53:09 [EB006006] An error occurred while executing REST API. URI = HTTPS://172.16.60.200:443/ConfigurationManager/simple/v1/objects/servers/db4ac4d6-0161-4e33-a574-cccaeaf90a35/hbas, operation = POST, statusCode = - (Job Failure), errorSource = /ConfigurationManager/simple/v1/objects/servers/db4ac4d6-0161-4e33-a574-cccaeaf90a35/hbas, messageID = KARS03004-E, message = The initiator name cannot be registered., cause = The specified initiator name is already registered., solution = Specify another initiator name., errorCode = None. Perform the following: (1) Check the cause and the solution mentioned above, carry out the solution if needed, and then try again. (2) Communication problems may have occurred with the storage system. Check the storage system environment.</pre> </div> <p>[Step2] Provision Datastore を実行しようとして失敗した VPS について、プラグインの VPS のサマリ画面から VPS ID を確認してください。VPS id は [VPS name]_[VPS' s IP address]_(ID: [VPS ID]) の形式で確認できます。</p>

		[Step3] VPS 管理者あるいは VSP One SDS Block の system 管理者に compute node ID と VPS ID を使用して compute node の削除を依頼してください。
13	(記載無し)	<p>1 度に大量の datastore の作成をするために Provision Datastore を実行する際、30 分以上の時間がかかるような場合は、下記手順で vCenter Server のセッションタイムアウト値を変更してください。</p> <p>[Step1] vCenter Server に SSH でログインしてください</p> <p>[Step2] etc/vmware-vpx/vpxd.cfg をエディタで開き、下記例のように&lt;vmacore&gt;と&lt;/vmacore&gt;の間に&lt;soap&gt;要素を追加し sessionTimeout として 120 を設定してください。</p> <pre>&lt;vmacore&gt; .... &lt;soap&gt;   &lt;sessionTimeout&gt;120&lt;/sessionTimeout&gt; &lt;/soap&gt; .... &lt;/vmacore&gt;</pre> <p>[Step3] 下記コマンドを実行して vCenter Server を再起動してください</p> <pre>service-control --restart vsphere-ui</pre>
14	(記載無し)	<p>NVMe over FC 接続を使用している場合、特定のボリュームのデータストア拡張操作が失敗した場合は、以下の手順を確認してください：</p> <p>Step 1. ストレージ管理者に、対象ボリュームの拡張容量がストレージシステムに正しく認識されているか確認してもらってください。</p> <p>Step 2. vCenter Server または ESXi 管理インターフェースから、対象ボリュームの拡張容量が正しく認識されているか確認してください。</p> <p>Step1 で拡張容量が正しく認識されているが、Step2 で拡張容量が認識されていないようであれば、ESXi が拡張デバイスの容量を正しく認識していない可能性があります。この場合は、Broadcom サポートに連絡してサポートを受けてください。</p>
15	(記載無し)	<p>NVMe over FC または NVMe/TCP 接続を使用する際に、Provision Datastore を実行する予定がある場合は、事前に ESXi とストレージシステムの間のパスの冗長性状況を確認してください。Provision Datastore を実行する際には、意図したパスの冗長性を確保するために適切なポートを選択してください。</p>
16	(記載無し)	<p>VSP One SDS Block が外部認証サーバと連携している環境でプラグインを使用する際は、外部認証サーバのユーザー名とパスワードは、VSP One SDS Block のドキュメント（例：「Hitachi Virtual Storage Platform One SDS Block オペレーションガイド」の「ユーザー認証設定とシステム要件」）で指定されている要件を満たす必要があります。</p>
17	(記載無し)	<p>一部のストレージシステムでは、プラグインは Hitachi Ops Center API Configuration Manager サーバーからストレージ情報を取得します。Hitachi Ops Center API Configuration Manager サーバー上のデータベース更新は、ストレージシステムやサーバーの負荷によって時間がかかる場合があります。このような場合、Storage Systems リストや Storage Volumes リストの情報が最新でないことがあります。最新情報を表示するには、一定時間後に「Refresh Storage System」を</p>

		再度実行してください。データベースの更新状態の確認方法については、Hitachi Ops Center API Configuration Manager のドキュメントを参照してください。
18	(記載無し)	<p>仮想ストレージマシンと、その関連する物理ストレージの両方が プラグイン に登録されている環境で、仮想ストレージマシンに対して Remove Storage Systems を実行すると、特定条件下でプラグイン内の物理ストレージの登録状態が不完全になる場合があります。この場合、影響を受けた物理ストレージに対するプラグイン操作 (Provision Datastore、Expand Datastore、Delete Datastore など) が次のエラーで失敗します : 「Cannot complete the operation. See the event log for details.」</p> <p>この問題が発生した場合、以下のいずれかの方法で影響を受けた物理ストレージをプラグイン に再登録してください :</p> <p>A) Remove Storage Systems で物理ストレージの登録を解除し、Add Storage Systems を使用して再登録する。</p> <p>B) プラグインのサービスを再起動するか、VM を再起動する。再起動後、物理ストレージはストレージリストに表示されなくなり、これはストレージの登録が解除された状態を示します。この状態から、Add Storage Systems を使用して物理ストレージを再登録してください。</p>
19	(記載無し)	<p>ストレージシステムに namespace が存在しない状態で Provision Datastore を実行する際、Namespace ID に「1」以外を指定しても、namespace は指定した ID ではなく Namespace ID 「1」で作成されます。この事象が発生した場合、当初指定した「1」以外の Namespace ID を再度指定して Provision Datastore を実行してください。これにより、指定した ID の namespace が作成されます。その後は、Namespace ID 「1」で作成された namespace は不要となりますので、後で Delete Datastore を使用して削除することが可能です。</p>

### 3. その他

次の表をご確認ください。

#	お読み替え前	お読み替え後
1	<a href="https://support.hitachivantara.com/en_us/contact-us.html">https://support.hitachivantara.com/en_us/contact-us.html</a>	<p>次の URL をご参照ください。</p> <p><a href="https://www.hitachi.co.jp/products/it/storage-solutions/products/adapter/index.html">https://www.hitachi.co.jp/products/it/storage-solutions/products/adapter/index.html</a></p>
2	<p><b>Release notes</b></p> <p>Read the release notes before installing and using this product. They may contain requirements or restrictions that are not fully described in this document or updates or corrections to this document. Release notes are available on the Hitachi Vantara documentation website:</p> <p><a href="https://docs.hitachivantara.com">https://docs.hitachivantara.com</a></p>	<p>プラグインの最新情報については次のサイトをご参照ください。</p> <p><a href="https://www.hitachi.co.jp/products/it/storage-solutions/products/adapter/index.html">https://www.hitachi.co.jp/products/it/storage-solutions/products/adapter/index.html</a></p>

3	<p><b>Accessing product documentation</b></p> <p>Product user documentation is available on: <a href="https://docs.hitachivantara.com">https://docs.hitachivantara.com</a>. Check this site for the most current documentation, including important updates that may have been made after the release of the product.</p>	<p>ストレージやサーバなどの日立 IT プラットフォーム製品をサーバ仮想化ソフトウェア (VMware) で活用できる、さまざまなプラグインを提供しています。Web サイトでは、各プラグインの概要や活用例を掲載しており、最新のプラグインやマニュアルのダウンロードも行えます。詳細は以下のサイトをご参照ください。  <a href="https://www.hitachi.co.jp/products/it/storage-solutions/products/adapter/index.html">https://www.hitachi.co.jp/products/it/storage-solutions/products/adapter/index.html</a></p>
4	<p><b>Getting help</b></p> <p>The <a href="https://support.hitachivantara.com">Hitachi Vantara Support Website</a> is the destination for technical support of products and solutions sold by Hitachi Vantara. To contact technical support, log on to the Hitachi Vantara Support Website. For additional contact methods, go to <a href="https://support.hitachivantara.com/en/contact-support.html">https://support.hitachivantara.com/en/contact-support.html</a>.</p> <p><a href="https://community.hitachivantara.com">Hitachi Vantara Community</a> is a global online community for Hitachi Vantara customers, partners, independent software vendors, employees, and prospects. It is the destination to get answers, discover insights, and make connections. <b>Join the conversation today!</b> Go to <a href="https://community.hitachivantara.com">community.hitachivantara.com</a>, register, and complete your profile.</p>	<p>本製品のサポート条件については、次の URL 内のサポート条件をご確認ください。  <a href="https://www.hitachi.co.jp/cgi-bin/soft/download/adapterdl/dll.cgi?p=002HSAfVv">https://www.hitachi.co.jp/cgi-bin/soft/download/adapterdl/dll.cgi?p=002HSAfVv</a></p> <p>サポート契約をされているお客様は、次の連絡先にお問い合わせください。</p> <p>日立サポートサービス : <a href="http://www.hitachi-support.com/">http://www.hitachi-support.com/</a></p> <p>サポート契約をされていないお客様は、当社営業担当にお問い合わせください。</p>
5	<p><b>Comments</b></p> <p>Please send us your comments on this document to <a href="mailto:doc.comments@hitachivantara.com">doc.comments@hitachivantara.com</a>. Include the document title and number, including the revision level (for example, -07), and refer to specific sections and paragraphs whenever possible. All comments become the property of Hitachi Vantara LLC.</p>	<p>本ドキュメントに関するご意見は、当社営業担当にご連絡ください。</p>
6	<p><b>Hitachi Vantara</b>  Corporate Headquarters  2535 Augustine Drive  Santa Clara, CA 95054 USA</p>	<p>日立ヴァンタラ株式会社  神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地</p>

#### 4. (付録 1) 前提ソフトウェアのセットアップ

Hitachi Command Suite Configuration Manager をご利用の際、ストレージシステムを登録する必要があります。

下記に Hitachi Command Suite Configuration Manager v8.6 におけるコマンドの例を示します。詳細については Hitachi Command Suite Configuration Manager REST API リファレンスガイドを参照ください。

## ストレージシステムの登録コマンド例

```
curl -v -H "Accept:application/json" -H "Content-Type:application/json" -u user:password -X POST --data-binary @./InputParameters.json https://192.0.10.30:23451/ConfigurationManager/v1/objects/storages
```

## InputParameters.json の内容

```
{
  "ctl1Ip" : "192.0.10.10",
  "ctl2Ip" : "192.0.10.11",
  "targetCtl" : "CTL1",
  "model" : "VSP G900",
  "serialNumber" : "123456",
  "changeNotificationSetting" : {
    "isNotifiable" : true
  }
}
```

注意事項: isNotifiable は true に設定ください。isNotifiable が true と設定されていない場合、プラグインはストレージシステムの最新の情報を取得できない場合があります、それによりプラグインの操作が失敗することがあります。

## 5. (付録 2) VMware vSphere Client セッションの切断

プラグインがタスク実行中に VMware vSphere client のセッションが切断された場合、そのタスクは失敗しプラグインによるリトライやロールバックが実行不可となります。もしセッションの切断が発生した可能性がある場合、ステップ 1, 2 を実行ください。

### [ステップ 1: タスクが失敗したことを確認する方法]

Backend Server の /var/log/hitachi-storage-plugin 配下の StoragePlugin.log および StoragePlugin.log.n(n=1~255)に下記メッセージが記録された場合、セッションの切断が発生したことを示します。

```
[167] [09/18/19-07:15:25.756] ERROR [-----] {HiLogger::outputStackTraceLog}: An unexpected error has occurred.Exception:ServerSOAPFaultException ErrorMessage:Client received SOAP Fault from server: The session is not authenticated. Please see the server log to find more detail regarding exact cause of the failure.
```

### [ステップ 2: datastore のロールバック方法]

ステップ 1 のメッセージが記録された場合、Datastore で利用されない LDEV が作成されています。StoragePlugin.log および StoragePlugin.log.n(n=1~255)に記録された LDEV ID と LDEV Label をご確認いただき、LDEV ID と LDEV Label をストレージ管理者へ連絡の上、当該 LDEV を削除するようにご依頼ください。

## 免責事項、他社商標、輸出管理について

### 免責事項

本書の内容の一部、または全部を無断で複製することはできません。

本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書に記載されている以外の方法で本製品を操作した結果、たとえ本製品がインストールされているお客様所有のコンピュータに何らかの障害が発生しても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品のサポートサービスに関する詳細は、当社営業担当にお問い合わせください。

### 他社商標

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

### 輸出管理について

このドキュメントにより、提供された技術やプログラムまたは購入した製品を輸出（または非居住者への提供）する場合は、「外国為替および外国貿易法」その他適用される法令を遵守してください。